

会議概要

件名	第5回鹿児島市文化芸術推進基本計画策定委員会
日時	令和3年11月24日（水）10時～11時35分
場所	鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室
出席者	文化芸術推進基本計画策定委員会委員13名、事務局6名
会次第	1 開会 2 議事 鹿児島市文化芸術推進基本計画素案について 3 その他 今後のスケジュールについて 4 閉会
主な意見等	<div style="text-align: right;">（○…委員、⇒…事務局）</div> <p>2 鹿児島市文化芸術推進基本計画素案について</p> <p>第一章</p> <p>○「市内各地には永年にわたって育まれてきた貴重な伝統芸能や史跡など豊かな地域文化があります」とあり、地域について具体的に表現してある。文化を通して地域が発展していけたらよいと思う。</p> <p>第二章</p> <p>○「2（3）情報通信技術の革新」の「IOT」などについては注釈を入れるかどうかにもよるが、文化芸術活動との関係について分かりやすいようにしたらよい。</p> <p>第三章</p> <p>○基本目標はよい形でできている。説明文についてより分かりやすいよう検討してはどうか。</p> <p>○基本施策「（2）地域伝統芸能の担い手の育成」の「主な取組例」中、「地域伝統芸能の保存団体への支援」は具体的にどのような取組になるのか。文化財に指定されていなくても助成対象になるのか。</p> <p>⇒制度の詳細は所管課に確認して回答する。</p> <p>○「4 成果指標」中、第六次鹿児島市総合計画の目標指標である「市民文化祭等の参加者数」の「市民文化祭等」とはどのようなものがあるのか。地域で行われる文化祭の参加者数も入っているか。</p> <p>⇒共催している市民文化祭のほか音とあかりの散歩道やふるさと芸能祭などの当課で行っているイベントの参加者数を積み上げて目標値としているものである。地域で行われる文化祭の参加者数は入っていない。</p> <p>○「4 成果指標」中、第六次鹿児島市総合計画の目標指標で「文化的環境が整っていると感じる割合」が令和8年度に約10%上げることとなっているが、10%あげるとするのは相当なことであり、どのような取組を実施していくのかビジョンみたいなものはあるのか。</p> <p>○本計画全体の取組を進めていくということになるのではないか。</p> <p>⇒第六次鹿児島市次総合計画においては、市民文化の創造を目指し、文化芸術に触れ親しむ機会の充実と人材の育成などの取組を行うこととしており、これらを通じて10年後の目標値を65%とし、令和8年度は中間年の目標値として56%を掲げているものである。</p> <p>○文化財の指定件数を令和8年度に2件増加の195件としているが、増加の2件の用途はあるのか。</p> <p>⇒所管課に確認して回答する。</p> <p>○天文館図書館ができるというのは市にとって大きなことである。P14の基本施策「（3）文化施設の効果的な運営と情報の発信」の「主な取組例」に記載はないが含まれるのか。</p>

⇒天文館図書館の運営は令和4年度の予算事業のため現時点では記載はないが、含まれていくものと考えている。

○基本施策「(2)誰もが文化芸術活動に参加できる環境づくり」と関連して、先日、西郷銅像の撮影広場で、車いすの方が撮影する際、ボランティアガイドの方がスロープを持ってきてくださっていた。所管が異なるかもしれないが、市の様々な施設がある中でバリアフリー化という視点はあるのか。

⇒バリアフリー化については、文化施設に関わらず、できることは進めていくということになると思う。

○参考資料中、「文化薫る地域の魅力づくり推進事業」に「TSUNAGU和のせかい」の記載がないが記載するよう検討してほしい。

○基本施策「(1)文化芸術に触れる機会の創出」の主な取組例で「自主文化事業への支援」とあるが、文章を分かりやすいようにした方がよいのではないか。

第四章

○「2計画の進行管理」について、成果指標の達成に向けて、事業の予算執行といった量的な評価のほかに、中間でアンケートを実施するなど今後の評価方法について教えてほしい。

⇒具体的には新年度になるが、庁内で事業の進捗状況を取りまとめ、有識者等で構成する会議で検証、評価することになる。計画期間の途中で確認するのにどのような方法があるのか検討が必要であると思う。

○評価するときに各課から進捗状況の報告を受けると思うが、連携やつながりが掲げられているため、どのようなところと協働したかの項目もあったらよいと思う。

○推進体制の中で、文化芸術が発展していくためにも「関係機関」に観光分野も入れても進めてほしい。

○「鹿児島市文化芸術推進会議（仮称）」は検証する組織だが計画を推進する主体のように見えてしまう。計画の推進主体はどのようになるのか。

⇒「1推進体制」で示しているように、市が多様な主体と連携、協働して進めていくことになる。組織の名称は令和4年度にご意見を踏まえて考えてまいりたい。

○参考資料の「郷土芸能保護事業」の事業概要の記載で、「貴重な地域の伝統文化」という表現は「地域の貴重な伝統文化」に変えたほうがよいのではないか。また、「正しく伝承されるよう」とあるが、昔からあるものも今の時代にあうようになっている部分があるため、「正しく」を省いた方がよいのではないか。

⇒所管課に確認して回答する。

○参考資料にある事業は、まさしく文化芸術に関連する事業であると思う。計画の進行管理を行う関係課の会議も、これから作られると思うが、各課の担当者が本気になって進めれば鹿児島がさらに良くなっていく。有識者等による推進会議や庁内会議を開く中で少しずつでも前に進むのかなと思う。ぜひ形にしてほしい。成果としてこんなことがあったといった量的な評価だけでなく質的にもあればよいと思う。

⇒関係事業一覧は、今後変動することも考えられる。文化芸術を部局横断的に進めるといふ形は今回が初めてになるのではないか。第六次鹿児島市総合計画の個別計画として関係課と連携し、委員からのご意見も踏まえながら進めていくことが大事であると思う。

○文化芸術は横断的なものの中で創られるものと思う。21世紀の成熟社会においては人の心を豊かにするという一番根幹に関わるものであり、文化芸術が中心に、ぜひ横断的に進めると市民に反映すると思う。

○市外の取組で工事現場の仮囲いを障害者アートで飾るという取組がある。郷土芸能や障害者アートで通る人が楽しむようなことをすればよい評価になるなど取り組んでもよいと思う。

⇒大河ドラマ館の囲いに市内外の高校の美術部に絵を描いてもらったことがあり、そのような取組も時期によっては実施している。

○計画素案P22、23に文化施設等の紹介があるが、市立美術館の説明文中、作家や専門家についての記載を確認してほしい。天文館図書館の記載がないが、天文館図書館は天文館から読書文化を発信するものであり掲載した方がよい。また、維新ふるさ

と館も入れた方がよいのではないか。

⇒所管課に確認する。維新ふるさと館は歴史観光の拠点であり、文化施設の分類でよい
か確認してみたい。

○文化施設等一覧に中央公民館は入らないか。文化に関する公演等も行われているため
入れてもよいのではないか。

○参考資料の天文館図書館整備事業について、ハード整備のことのみ記載されているが
ソフト面のことにも触れてもよいのではないか。

⇒所管課に確認する。

○最終的な計画素案については正副委員長で確認し、後日各委員へ報告する。